T6329-15

** 2026 年 9 月改訂
＊ 2025 年 10 月改訂

製品番号：77940

トレースチェック PLUS

ご使用前にこの添付文書をよくお読みください。

本品はヒト型酵素を使用し、ヒト血清と物理的性状、反応性の類似したコントロール血清です。トレースキャリブ PLUS で検量した弊社試薬での測定値を表示しています。試料調製が容易な液状凍結品です。

「内容」

77940　トレースチェック PLUS
　Level 1　　2 mL × 3 本
　Level 2　　2 mL × 3 本

「使用酵素」

項　目	由　来
ＡＳＴ	ヒトリコンビナント
ＡＬＴ	ヒトリコンビナント
γ-ＧＴ	ヒトリコンビナント
ＣＫ	ヒトリコンビナント
ＡＬＰ	ヒトリコンビナント
ＬＤ	ヒトリコンビナント
ＡＭＹ	ヒトリコンビナント
ＣｈＥ	ヒト血清

「対象製品」

弊社 シカリキッドシリーズ、シカフィットシリーズ他。
詳細については弊社までお問い合わせください。

「使用法」

本品を冷凍庫から取り出し、15～25 ℃にて 20 分静置して融解します。完全に融解したことを確認した後、穏やかに 10 回転倒混和して均一とします。融解後は 2～8 ℃で保存し、24 時間以内にご使用ください。

「使用上の注意」

① 本品は弊社対象製品について有効です。
② 本品は融解後 1 回限りの使用とし、再凍結させないでください。
③ 本品は防腐剤としてアジ化ナトリウムを含有していますので、皮膚等に付着した場合は直ちに大量の水で洗い流してください。また、廃棄するときも大量の水で流してください。
④ 本品は HIV 抗体、HCV 抗体、HBs 抗原、HIV 抗原について陰性であることを確認しております。しかしながら、感染性因子を完全に否定できる検査はありません。したがいまして、取り扱いは患者検体同様に、注意して行ってください。

「貯蔵方法・有効期間」

1.　貯蔵方法：　-20 ℃ 以下
2.　有効期間：表示期限まで有効

「問い合わせ先」
関東化学株式会社　ライフサイエンス部
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
Tel 03-6214-1091

「製造販売元」
関東化学株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
Tel 03-6214-1091

「酵素活性値表」*、**

下記酵素活性値は、JSCC/JCCLS 標準化対応法及び IFCC 標準化対応法としての値です。
酵素活性値は本製造番号のみに有効です。

製造番号： ６Ｓ０６６１
使用期限： ２０２８．０２．２０

項目	製品名	測定原理	LEVEL 1		LEVEL 2	
			活性値±不確かさ注)	管理限界	活性値±不確かさ注)	管理限界
AST	ｼｶﾘｷｯﾄﾞ AST ｼｶﾌｨｯﾄ AST ﾗﾎﾞﾌｨｯﾄ AST	JSCC 標準化対応法	35 ± 1.3	33 - 37	187 ± 7.5	178 - 196
ALT	ｼｶﾘｷｯﾄﾞ ALT ｼｶﾌｨｯﾄ ALT ﾗﾎﾞﾌｨｯﾄ ALT	JSCC 標準化対応法	36 ± 1.0	34 - 38	191 ± 5.8	181 - 201
γ-GT	ｼｶﾘｷｯﾄﾞ γ-GT J ｼｶﾌｨｯﾄ γ-GT ﾗﾎﾞﾌｨｯﾄ γ-GT	JSCC 標準化対応法	38 ± 1.4	36 - 40	199 ± 7.0	189 - 209
CK	ｼｶﾘｷｯﾄﾞ CK ｼｶﾌｨｯﾄ CK ﾗﾎﾞﾌｨｯﾄ CK ｼｶﾌｨｯﾄ CK Ⅱ	JSCC 標準化対応法	104 ± 3.0	99 - 109	548 ± 15.9	521 - 575
ALP	ｼｶﾘｷｯﾄﾞ ALP-IFCC	IFCC 標準化対応法	48 ± 1.9	46 - 50	252 ± 10.2	239 - 265
LD	ｼｶﾌｨｯﾄ LD-IFCC	IFCC 標準化対応法	71 ± 2.3	67 - 75	371 ± 10.9	352 - 390
AMY	ｼｶﾌｨｯﾄ AMY-G7	Et-G7-pNP 法 (JSCC 標準化対応法)	126 ± 3.7	120 - 132	663 ± 19.6	630 - 696
p-AMY	ｼｶﾌｨｯﾄ p-AMY-G7	Et-G7-pNP 法 (JCCLS 参考値)	52	49 - 55	276	262 - 290
ChE	ｼｶﾘｷｯﾄﾞ ChE ｼｶﾌｨｯﾄ ChE	BZTC 基質法 (JSCC 標準化対応法)	103 ± 1.8	98 - 108	534 ± 9.5	507 - 561
	ｼｶﾌｨｯﾄ ChE J	pHBC 基質法 (JSCC 標準化対応法)	101 ± 2.4	96 - 106	536 ± 13.2	509 - 563

（単位：U/L）

注） 拡張不確かさ(包含係数 $k = 2$)
不確かさは表示値の信頼性を表現するものです。
測定結果の判断は、管理限界を参考としてください。